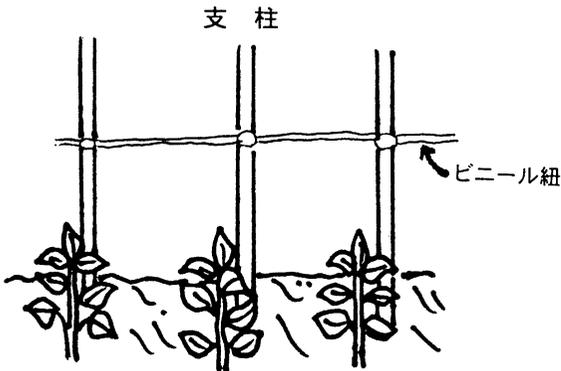
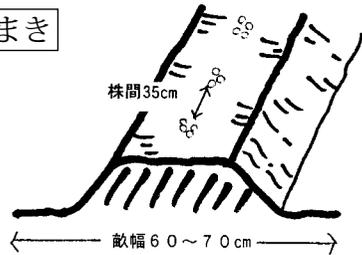


## 支柱立てと摘心

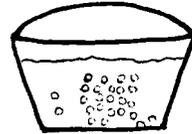


草丈が20cmぐらいになると支柱を立て、ビニール紐を張って誘引し、摘心をしてわき芽の発生を促します。

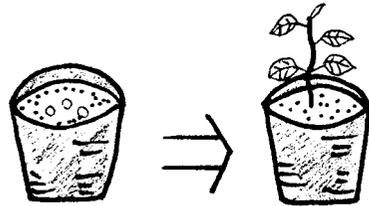
## 種まき



じかまきは、35cm間隔に1カ所3~4粒をまき、覆土(約9mm)します。

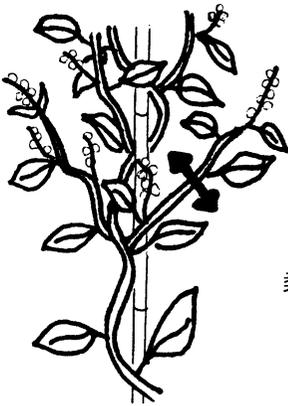


種まきをする前に、種を一昼夜水につけておきます。



育苗する場合は、直径9cm程のポリ鉢に3~4粒ずつまき本葉が3~4枚のとき定植します。

## 収穫



柔らかい茎の先端と葉を折りとって収穫します。つみ取った茎葉は、ゆでこぼしてアクをとり、油いため、ごまあえ、おしたしなどに調理できます。

## 今月の作業

### ★今月植える(まく)野菜

四月はネギ、ミツバ、ホウレンソウ、ニンジン、チンゲンサイ等春まき野菜のは種いも類のほか、キュウリ、ナス、トマト、ピーマン、カボチャ等の果菜類の植えつけ時期です。

なお、果菜類はトンネルやホットキャップ内に植えつけます。

### ★防寒や生育を早める資材

- ・トンネル  
支柱を立て、ビニールやポリエチレンのフィルムでトンネル状に覆う。
- ・ホットキャップ  
スイカやカボチャ等を植えつける時、三角状のポリフィルム製のキャップを使用します。
- ・不織布  
軽い霜や寒さを防ぐため、トンネル状に覆ったり、作物の上に直接覆います。

# 楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場  
伊藤 博紀

## ツルムラサキを作ろう！

ツルムラサキは、文字どおりつる性の野菜です。東南アジアが原産で、高温を好み、夏期に生育が旺盛となります。カルシウム、ビタミンA、Cが豊富に含んでおり、健康食品として優れている点が注目されています。

①栽培のポイント  
生育の適温は二五～三〇℃で、日当たりの良いところで栽培することが大切です。霜にあたると枯れてしまうので、注意が必要です。

②家庭菜園に適した品種  
品種は、「青茎種」と「赤茎種」があります。食用には青茎種、観賞用には赤茎種が用いられます。

③畑の準備  
基肥として一〇㎡当たり堆肥二〇kg、苦土石灰一・五kg、化成肥料二kgを施し、幅六〇～七〇cmの畝を作ります。

④種まき  
種の発芽には高温を要するので、露地まきの場合は四月下旬からです。種は外皮が固いので、種をまく前に一昼夜水に浸し、株間三五cmに一カ所三～四粒ずつまきます。種まき後は、うすく土をかぶせ、かん水しておきます。また、九cm程のポリ鉢に三～四粒ずつまいて、ハウス内で育苗し、本葉が三～四枚なつてから、植えつけると生育が進みます。

⑤手入れ  
本葉が二～三枚のころ、茎や葉の大きいものを一本を残し、他は間引きます。その後、土壌の乾燥と雑草が生えるのを防ぐため、敷わらをします。

草丈が二〇cmぐらいになったら、支柱を立て誘引し、本葉が五～六枚になったころ、摘心をしてわき芽の発生を促します。

⑥収穫  
わき芽が伸びてきたら葉二枚を残して若い茎葉を一五cmぐらいでつみ取ります。夏の高温期にはわき芽の発生が旺盛になるので、伸びすぎて硬くならないよう早めに収穫します。

### 栽培時期

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	適する品種
					○	---	○	■		青茎種

○ 種まき      ■ 収穫